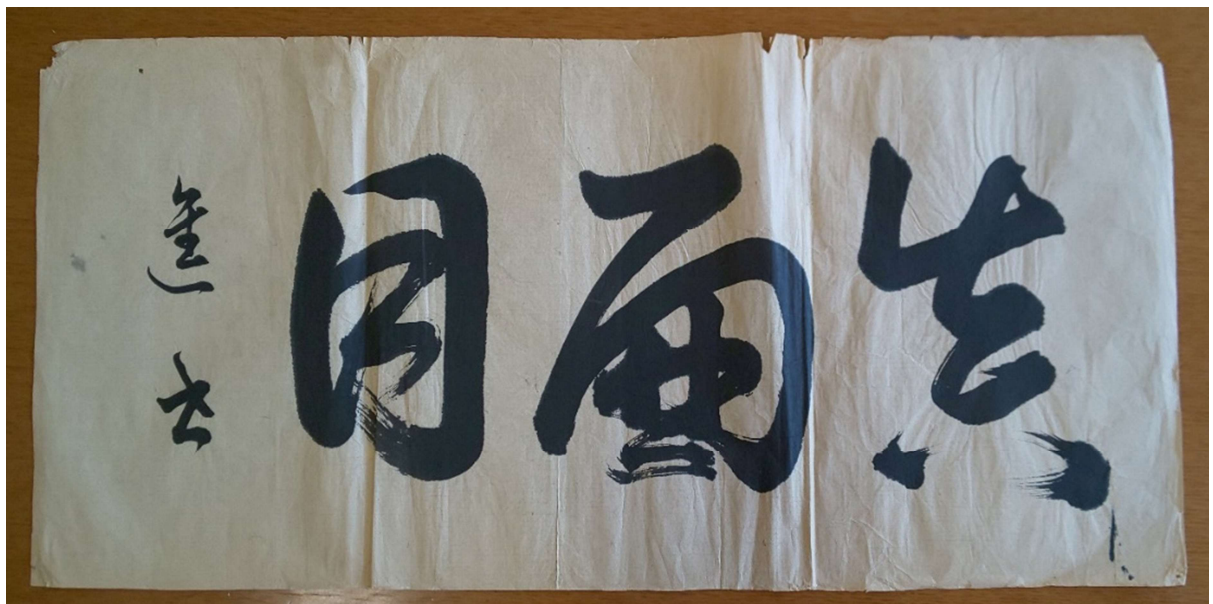


## Y校アーカイブ vol. 1 1 「真面目」

図書館に入ってすぐのカウンターの上に、青銅色の盾があります。昨年度の社会科で、この盾の文字がクイズの答えになっていた授業があったので、見たことがある生徒も多いかと思います。達筆すぎる文字を読めた生徒はほんの数人でしたが、これは初代校長の美澤進先生が書かれた「真面目」という書を、創立百周年の際に記念品として盾にしたものです。今回は直筆の書も合わせてご紹介します。



真  
面  
目  
  
進  
書

現在はこの文字は「まじめ」と読みますが、明治の当時には漢語のままの読み方で「しんめんもく」もしくは「しんめんぼく」と読んでいました。今でもY校関係者はこの盾などを見ると「ああ、しんめんぼく、ね」と言います。

同じ書が校長室にも額装されて掲げられています。図書館には三枚の書が残っており、美澤先生が何度も何度も心をこめて書かれたことがうかがえます。しんめんぼくとは、真の面目、本来の面目、つまり他から見られたほんとうの姿ということでしょうか。創立して140年が経った今も、美澤先生がのこされた言葉のままに、Y校生たちはまっすぐに、真面目に、毎日を送っています。